



# ～福井県内の経済情勢等について～

令和3年1月26日

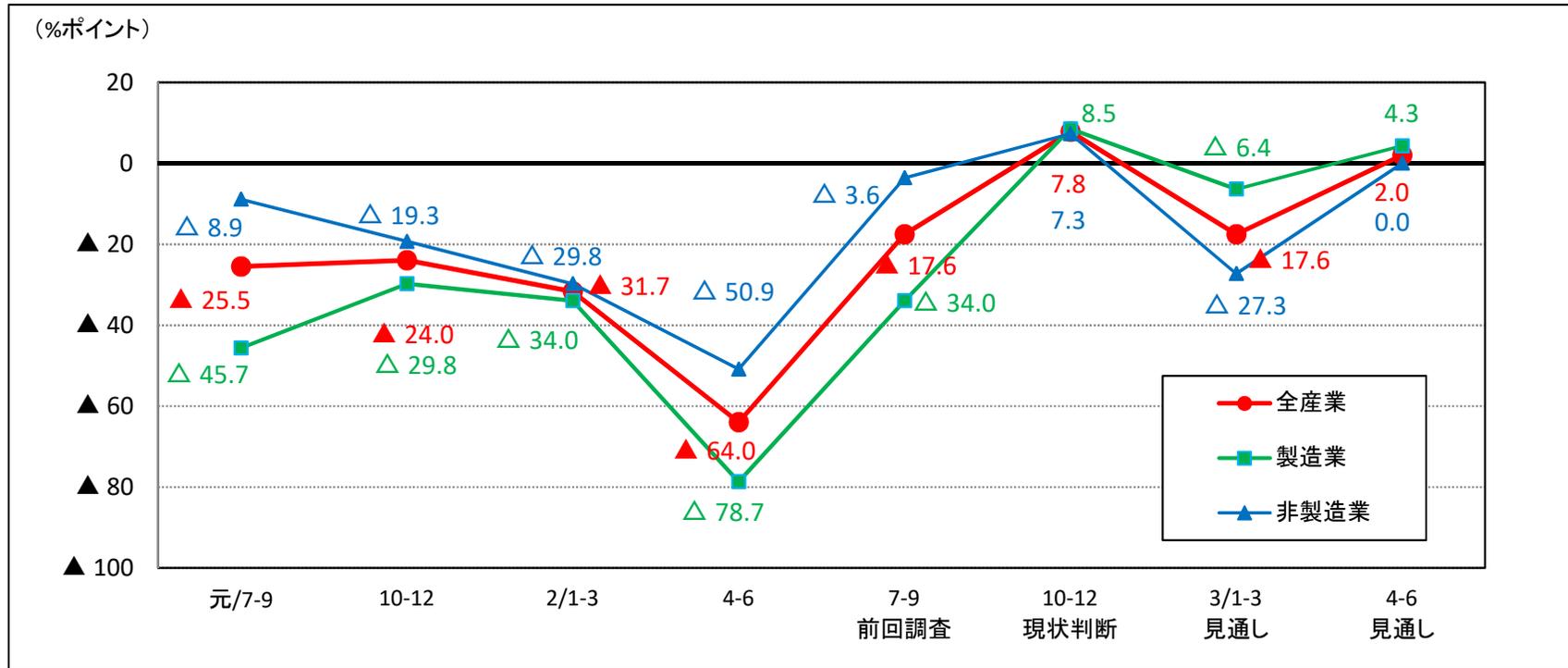
北陸財務局 福井財務事務所長

山岸 賢一

# ○ 県内企業の景況感等

## 【企業の景況感】

➤ 現状判断は「上昇」超、先行き見通し(3年1～3月期)は「下降」超。



[法人企業景気予測調査  
(2年10-12月期調査) 結果]

### 《企業等から聞かれた声》

- 前四半期と比べ受注は戻りつつあるが、前年の水準には満たない状況。(繊維、窯業、非鉄金属、金属、その他製造)
- G o T o 事業の効果もあって、前四半期と比べて客数や売上は増加。(他学専)
- 翌期は感染者の増加によって、客数や売上の減少を見込んでいる。(小売、娯楽、その他サービス)
- 足下で感染症が拡大しており、先行きの不透明感は強まっている。(繊維、紙、化学)

## 【売上高（除く「電気・ガス・水道業」）】

➤ 2年度は減収見込みとなっている。

## 【経常利益（除く「電気・ガス・水道業、金融業、保険業」）】

➤ 2年度は減益見込みとなっている。

## 【設備投資（除く「電気・ガス・水道業」）】

➤ 2年度は減少見込みとなっている。

		全産業		
			製造業	非製造業
2 年 度	売 上 高	( ▲ 4.7 )	( ▲ 12.6 )	( 10.0 )
		( ▲ 4.0 )	( ▲ 12.2 )	( 11.5 )
	経 常 利 益	( ▲ 19.5 )	( ▲ 25.7 )	( ▲ 1.3 )
		( ▲ 9.5 )	( ▲ 17.1 )	( 12.7 )
	設 備 投 資	( ▲ 1.6 )	( ▲ 8.3 )	( 8.6 )
		▲ 4.4	▲ 13.5	9.5

- (注) 1. ( ) は前回調査結果。  
 2. 売上高については、「金融業、保険業」は調査対象外。  
 3. 設備投資については、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額は含まない。

[法人企業景気予測調査（2年10-12月期調査）結果]

## 《企業等から聞かれた声》

- 感染症の影響による受注の落ち込みから減収減益見込み。（繊維、化学、その他製造 ほか）
- 新規出店効果とコロナ特需がみられることから増収増益見込み。（小売）
- 雇用調整助成金の活用により人件費が減少していることから、経常利益の通期見込みを上方修正。（繊維、その他製造、小売）
- 業況悪化により不要不急の設備投資は見送る計画。（繊維）
- 前年度に実施した新工場建設の反動により、設備投資額は減少。（化学、その他製造）

## ○ 個人消費の動き

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある。

(福井財務事務所 令和2年10月発表)

- ✓ 社会経済活動のレベルを上げていくなかで持ち直しつつあるものの、感染症拡大による下振れリスクに注意。
- ✓ また、コロナ禍の影響度合いにより、業種ごとに大きなバラツキが見られる。

### 〈判断の動き〉

1月	4月 	7月 	10月 
拡大に向けたテンポが <u>緩やか</u> になっている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>弱い動き</u> となっている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では <u>持ち直しの兆しがみられる</u> 。	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、 <u>緩やかに持ち直しつつある</u> 。

### 【全国】

- 個人消費は、一部に足踏みもみられるが、そうじてみれば持ち直している。(月例経済報告 令和2年12月)

### 【北陸】

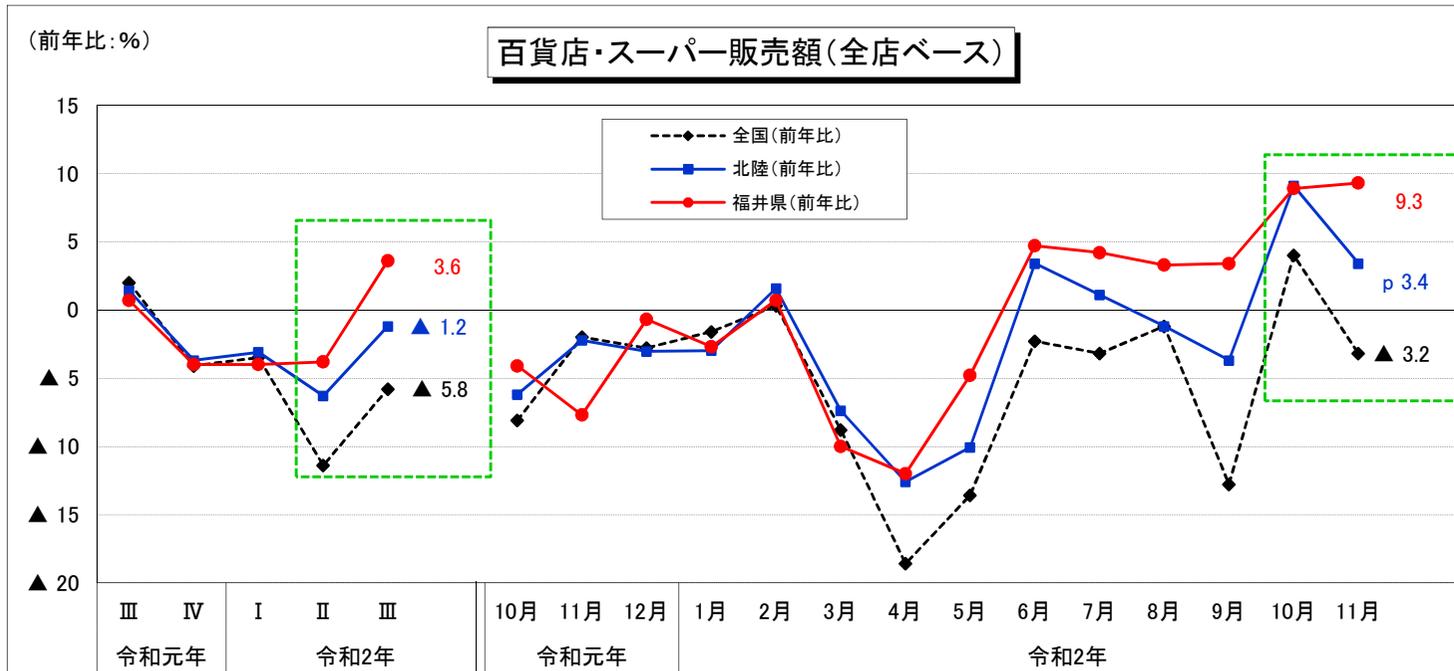
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある。

(北陸財務局 令和2年11月発表)

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【百貨店・スーパー販売の動向】

➤ 飲食料品等に動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。



百貨店・スーパー販売額（全国）

(単位: %)

年月	合計	百貨店・スーパー	
		百貨店	スーパー
2020年 7月	▲ 3.2	▲ 19.8	4.5
8月	▲ 1.2	▲ 21.3	5.6
9月	▲ 12.8	▲ 34.0	▲ 3.0
10月	4.0	▲ 2.5	6.0
11月	▲ 3.5	▲ 15.1	2.1

[経済産業省]

[経済産業省、中部経済産業局及び近畿経済産業局]

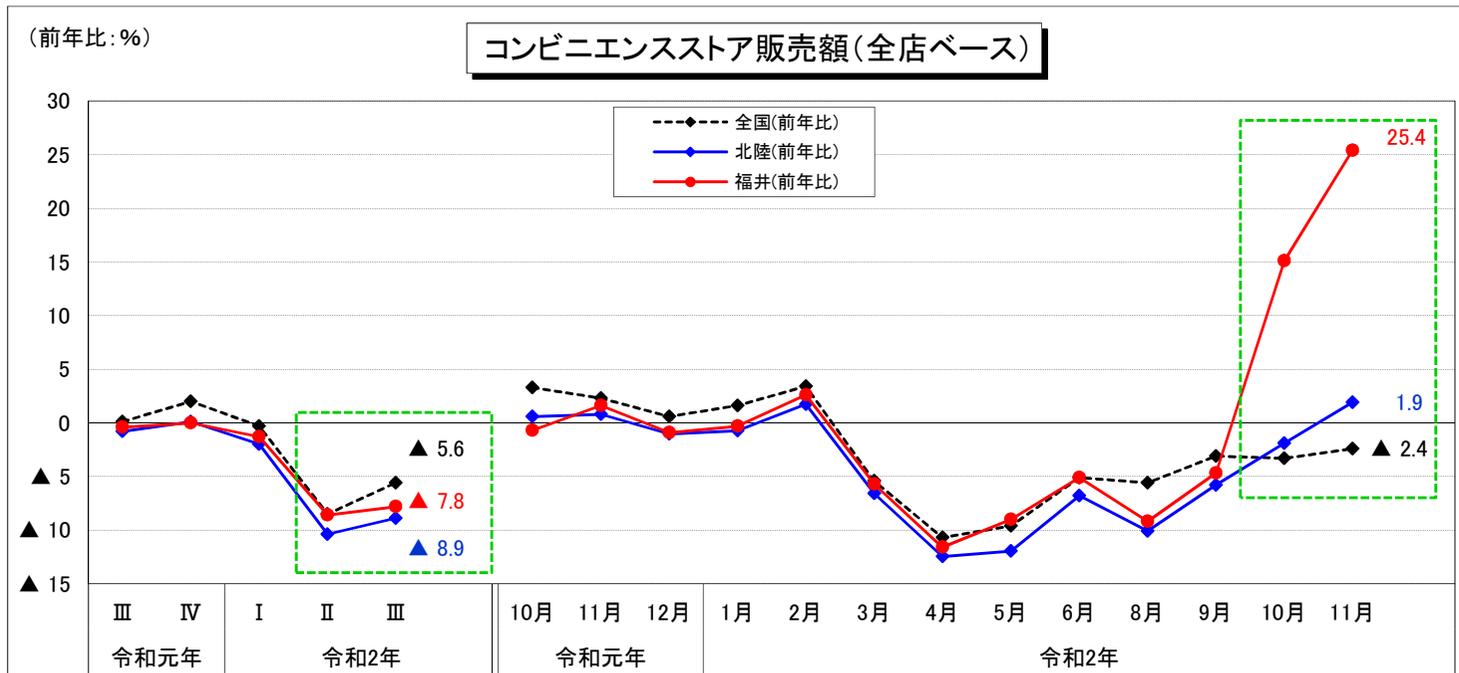
## 【企業等から聞かれた声】

- ・ 外食を控え、家庭で調理をする動きが続いており、生鮮食品、精肉等の動きが良い。
- ・ 外出自粛の影響で秋冬服やトラベル関連の動きが悪い。マスク生活が続いていることから、リップの動きが悪い。

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【コンビニエンスストア販売の動向】

➤ 米飯類等の動きが鈍いことから、弱含んでいる。



[経済産業省、中部経済産業局及び近畿経済産業局]

## コンビニエンスストア販売額の動向（全国）

(単位:%)

年月	合計	商品販売			サービス
		FF・日配食品	加工食品	非食品	
2020年7月	▲7.9	▲9.7	▲9.5	▲2.8	▲16.4
8月	▲5.6	▲6.6	▲3.5	▲2.6	▲24.3
9月	▲3.1	▲9.3	▲6.6	12.4	▲29.5
10月	▲3.3	▲4.9	▲7.6	▲5.1	47.3
11月	▲2.4	▲6.3	▲5.4	0.4	24.3

[経済産業省]

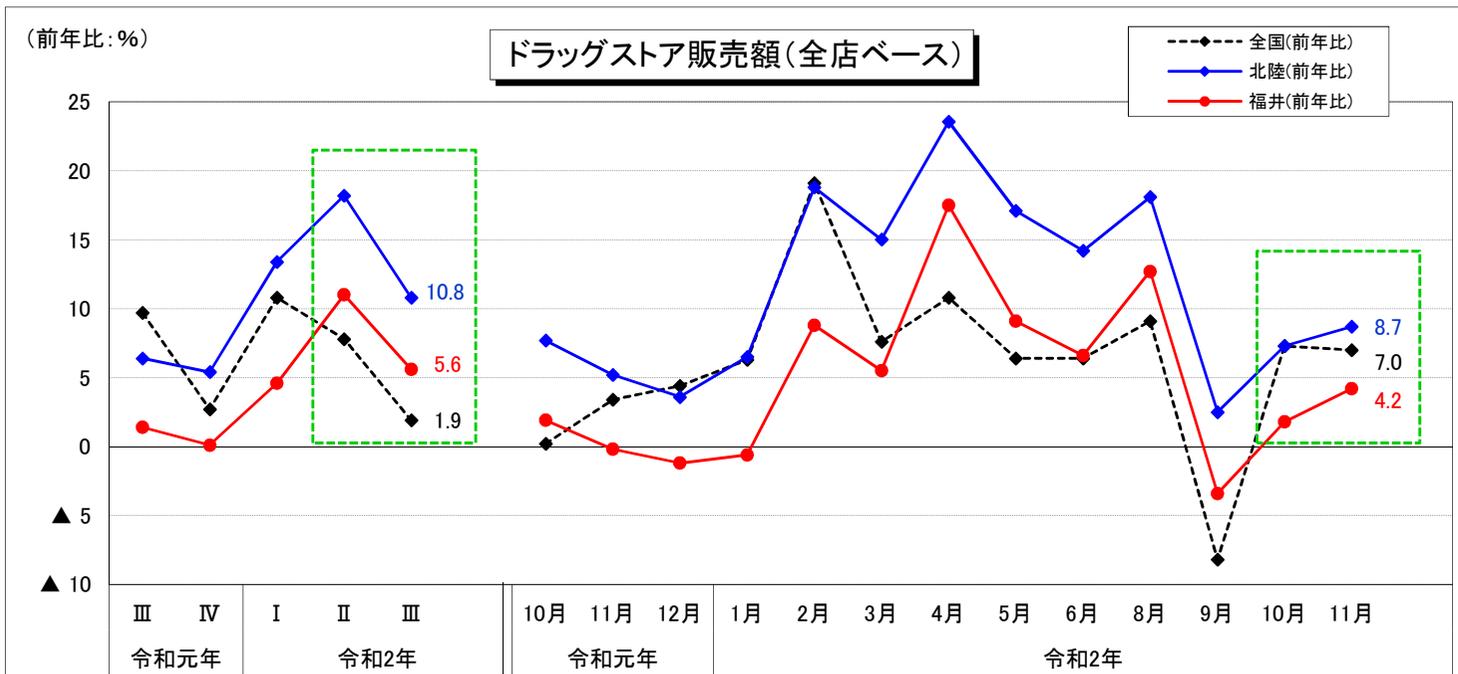
## 【企業等から聞かれた声】

- 外出自粛の動きが続いていることから、米飯類や飲料の動きが鈍く、売り上げは前年を下回っている。
- 外食を控え、家で飲酒や食事をする動きが続いており、チューハイなどの売れ行きは良い。

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【ドラッグストア販売の動向】

➤ 飲食料品や衛生用品に動きがみられることから、好調となっている。



[経済産業省、中部経済産業局及び近畿経済産業局]

## ドラッグストア販売額の動向（全国）

(単位: %)

年月	合計	調剤 医薬品	衛生 用品・ 介護・ ベビー	化粧 品・ 小物	家庭 用品・ 日用 消耗品 ほか	食品
8月	9.1	5.3	42.2	▲9.3	14.4	12.5
9月	▲8.2	2.6	14.0	▲29.6	▲10.4	2.4
10月	7.3	10.2	28.3	▲3.3	11.3	6.4
11月	7.1	3.4	24.4	▲3.4	13.1	9.5

[経済産業省]

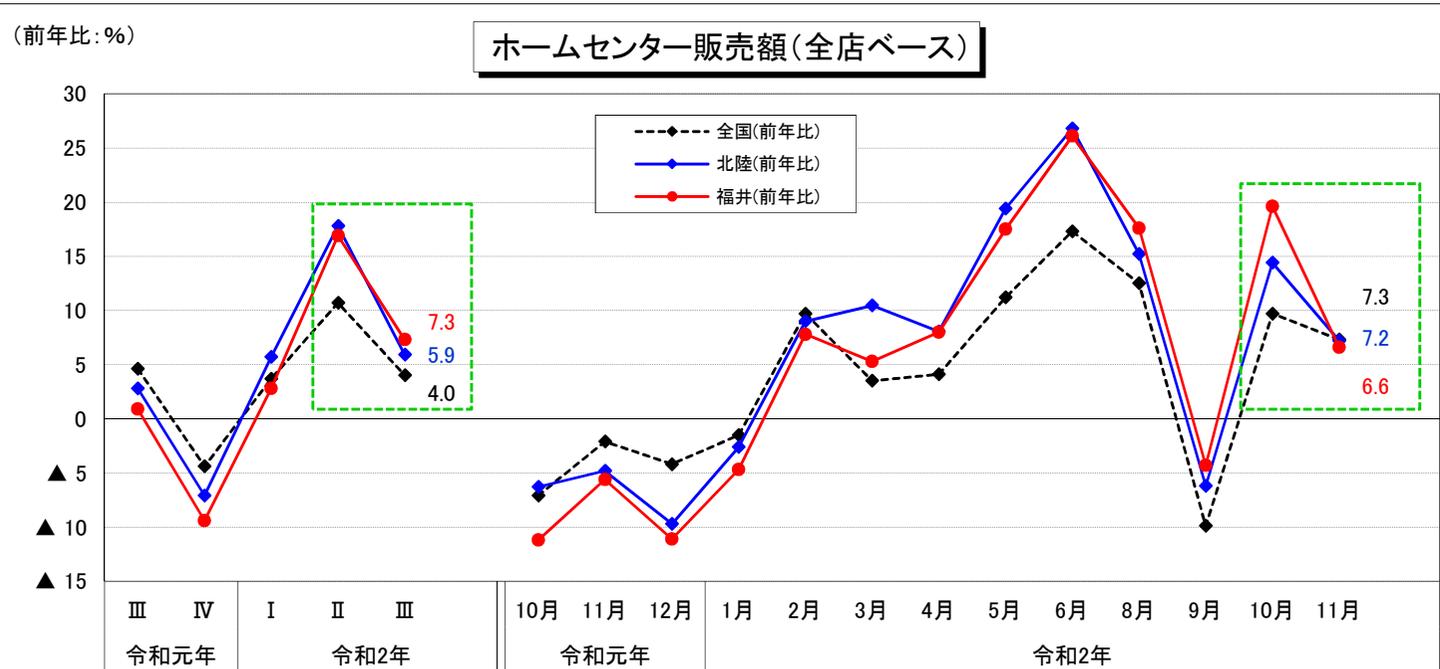
## 【企業等から聞かれた声】

・ コロナ特需で大きく伸びた前四半期と比べると落ち着いているが、衛生用品と飲食料品を中心に動きがみられる。

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【ホームセンター販売の動向】

➤ 園芸用品やDIY用品等に動きがみられることから、好調となっている。



[経済産業省、中部経済産業局及び近畿経済産業局]

## ホームセンター販売額の動向（全国）

（単位：％）

年月	合計	（単位：％）			
		DIY 用具・ 素材	家庭 用品・ 日用品	園芸・ エクステ リア	カー 用品・ アウト ドア
2020年 7月	10.6	13.6	13.6	8.9	2.9
8月	12.5	16.9	8.4	22.9	12.2
9月	▲9.9	0.7	▲20.3	▲6.0	▲12.0
10月	9.7	1.4	14.9	20.3	2.3
11月	7.3	6.1	12.5	13.7	2.9

[経済産業省]

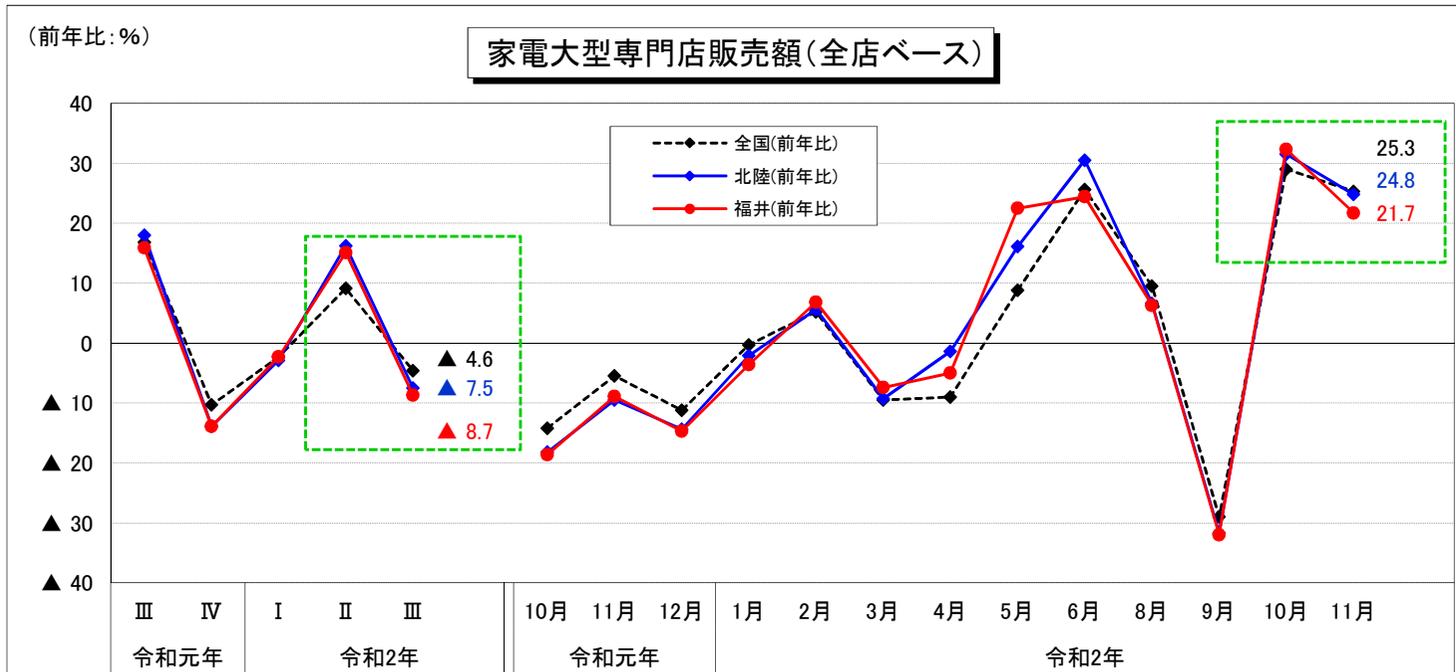
## 【企業等から聞かれた声】

• 在宅時間の増加から、家の中をより充実させる商品に動きがみられるほか、冬物季節商品の動きもよい。

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【家電大型専門店販売の動向】

➤ テレビや白物家電に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。



[経済産業省、中部経済産業局及び近畿経済産業局]

家電大型専門店販売額の動向（全国）

(単位:%)

年月	合計	家電大型専門店販売額(前年比:%)			
		AV家電	情報家電	カメラ類	生活家電
2020年 7月	12.1	19.9	23.0	▲22.1	10.4
8月	9.5	4.4	21.0	▲24.6	12.6
9月	▲29.0	▲25.8	▲24.1	▲38.7	▲31.5
10月	29.0	27.8	31.1	6.8	42.2
11月	25.3	25.3	17.4	▲4.1	30.6

[経済産業省]

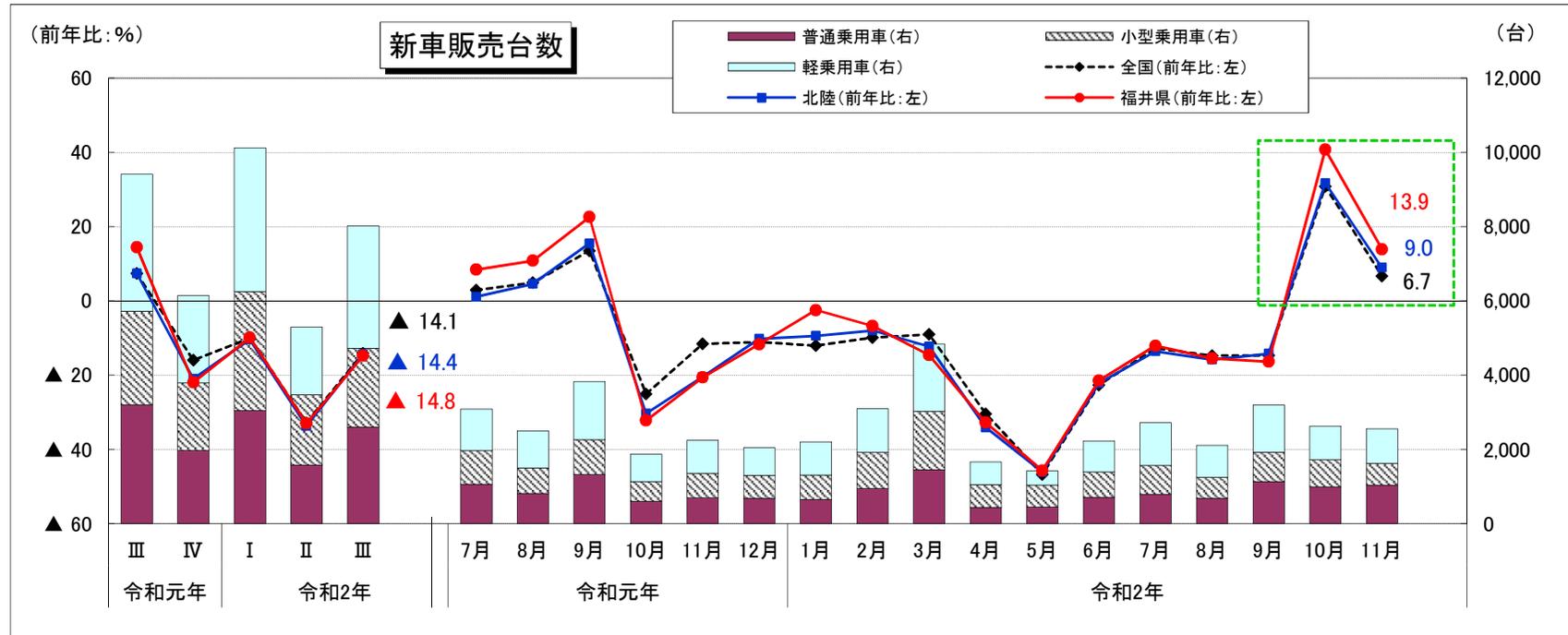
## 【企業等から聞かれた声】

- 巣ごもり需要は落ち着きを見せているものの、在宅時間の増加から、冷凍庫の容量が大きい冷蔵庫や家事の手間が省けるような調理家電などに動きが見られる。また、感染症対策として、空気清浄機の動きが良い。

# ○ 業種別の動き（個人消費）

## 【新車販売台数の動向】

➤ 普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っているものの、下げ止まっている。



[日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、各県自動車販売店協会、軽自動車協会（福井県、石川県）、軽自動車検査協会（富山県）]

## 【企業等から聞かれた声】

• 客数は回復傾向にあるほか、新型車効果から、登録台数、受注台数とも前年を上回って推移している。

## ○ 業種別の動き（個人消費）

### 【主要観光地の来訪客数】

- 前年を大幅に下回っている。

### 【主要温泉地の宿泊客数】

- 前年を大幅に下回っている。

### 【企業等から聞かれた声】

#### （主要観光地）

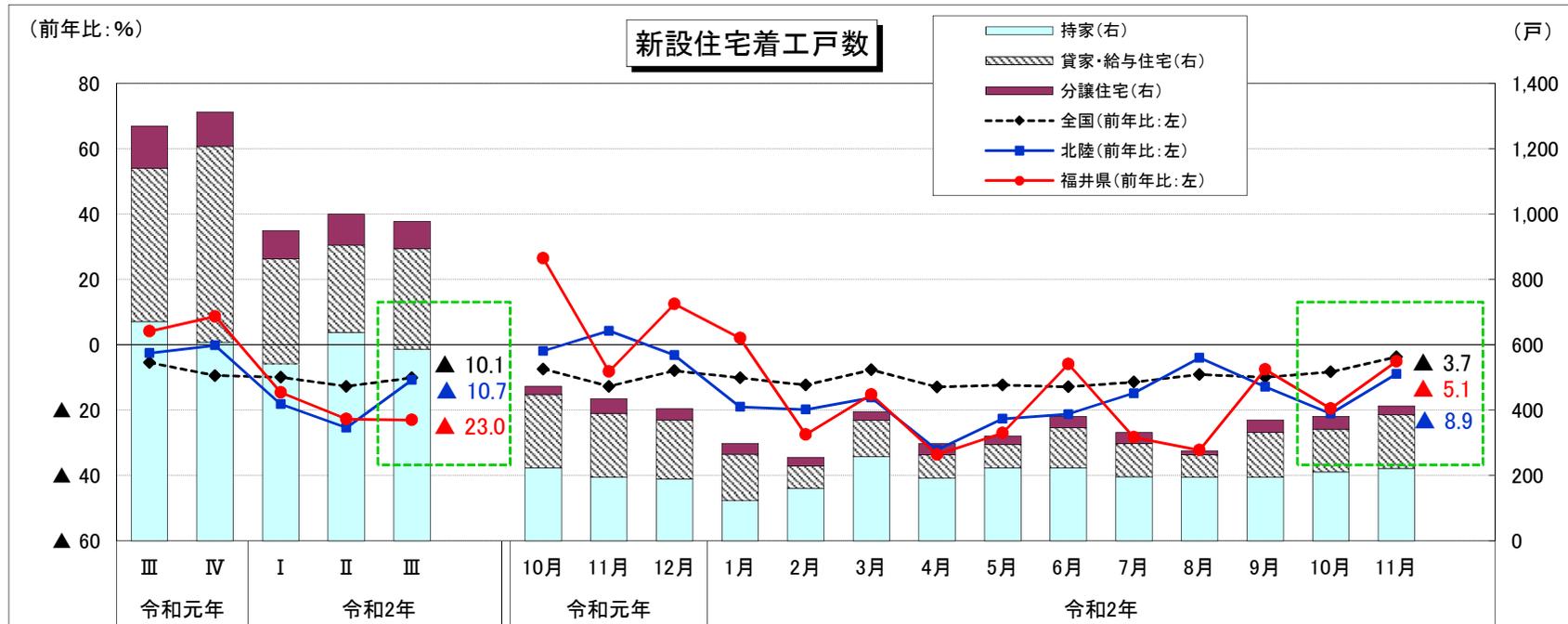
- GoToトラベルが一時停止となって以降、入込客は減少している。
- コロナと寒波の影響により、来訪客数は減る見込み。

#### （主要温泉地）

- 忘年会を控える動きから、団体客の減少が大きい。
- GoToトラベルの一時停止以降、多くのキャンセルがあった。緊急事態宣言が発出されれば、さらに増加するだろう。

# ○ 住宅建設の動き

○ 住宅建設を新設住宅着工戸数で見ると、弱い動きとなっている。



[国土交通省]

## 【企業等から聞かれた声】

- 受注・契約件数は、前年並みの水準であるが、来年度以降、所得水準の減少に伴い、住宅ローン借入可能額が下がることを懸念して今年度中に決める動きがある。

## ○ 生産活動の動き

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、下げ止まりつつある。

(福井財務事務所 令和2年10月発表)

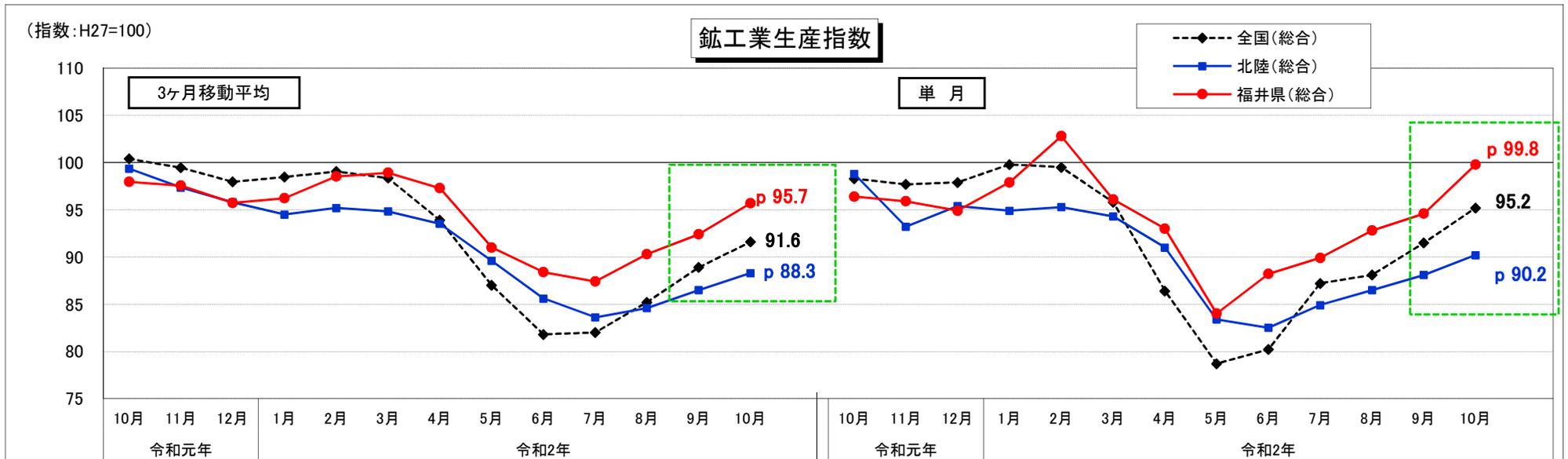
- ✓ 自動車生産の回復や5G需要の拡大を背景に、生産の状況は下げ止まりつつある。
- ✓ 一方、コロナ禍の影響度合いにより、2極化の動きが見られる。

〈判断の動き〉

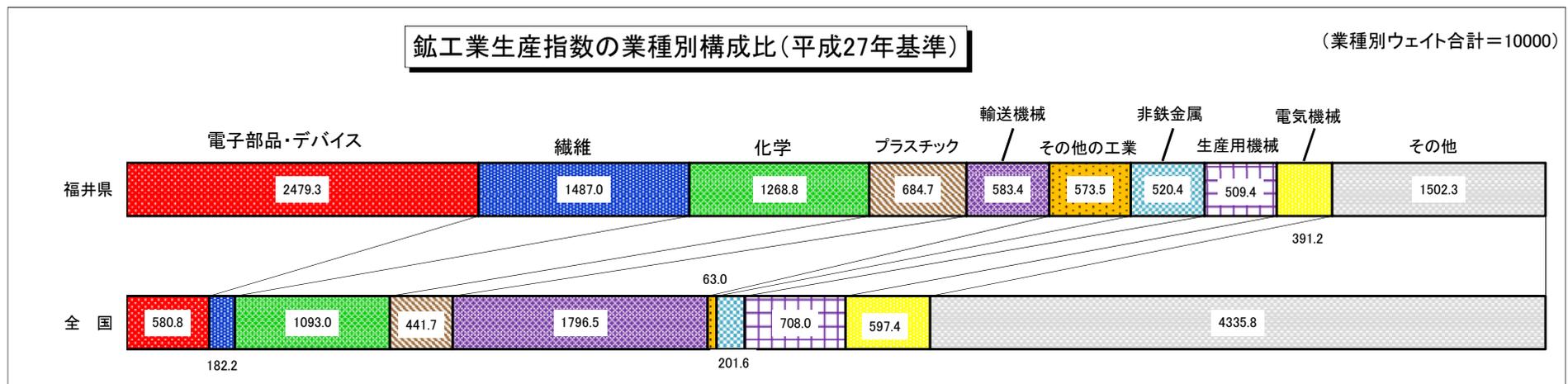
1月	4月 	7月 	10月 
<u>横ばいの状況にある。</u>	<u>足踏みの状況にある。</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>弱い動き</u> となっている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、 <u>下げ止まりつつある</u> 。

### 【全国】

- 生産も持ち直しが続く。自動車やスマートフォンなど幅広い財に使用される半導体の出荷は、5G対応やオンライン通信機器の需要の高まりから、2021年も増加見込み。(月例経済報告関係閣僚会議資料 令和2年12月)
- 生産は、持ち直している。業種別にみると、輸送機械は持ち直している。生産用機械はおおむね横ばいとなっている。電子部品・デバイスは緩やかに増加している。(月例経済報告 令和2年11月)



(注) 値は季節調整値



(注) その他の工業は、福井県は「眼鏡枠及び部品」、全国は「時計、楽器、文具、玩具、皮革製品」

[経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、福井県]

# ○ 主な業種の動き（生産活動）

## 【電子部品・デバイス】

➤ スマートフォン向けを中心に持ち直している。

《企業等から聞かれた声》

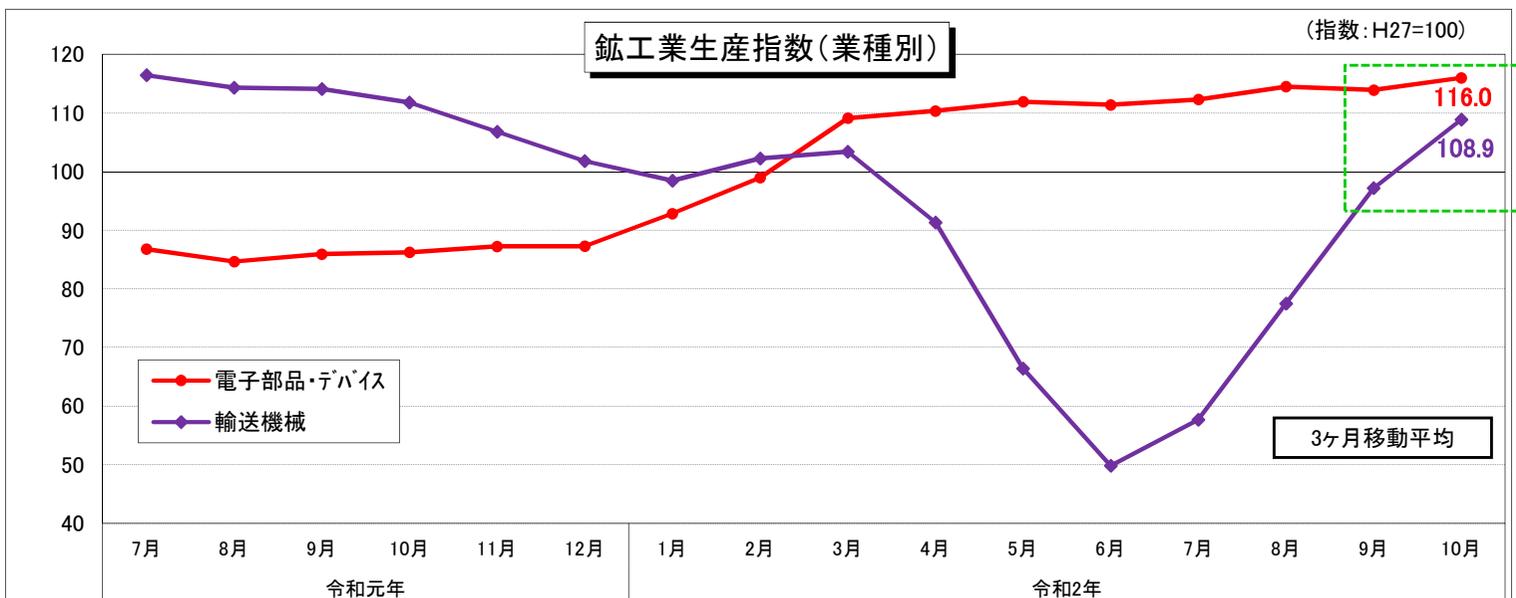
- スマートフォン向けの受注が旺盛であり、受注に生産が追いついておらず、工場はフル稼働が続いている。

## 【輸送機械（自動車部品）】

➤ 持ち直しつつある。

《企業等から聞かれた声》

- 売り上げは前年並みまで戻り、感染症の影響は現時点ではなくなっており、稼働率も上昇している。
- この状況が続くかは懸念があり、感染症拡大の影響から自動車販売が伸びなければ、受注にも影響が出てくる。



(注) 1. 値は季節調整値  
2. 令和2年10月は速報値

# ○ 主な業種の動き（生産活動）

## 【繊維】

➤ 非衣料向けは下げ止まりつつあるものの、衣料向けが落ち込んでいることから、全体では弱まっている。

### 《企業等から聞かれた声》

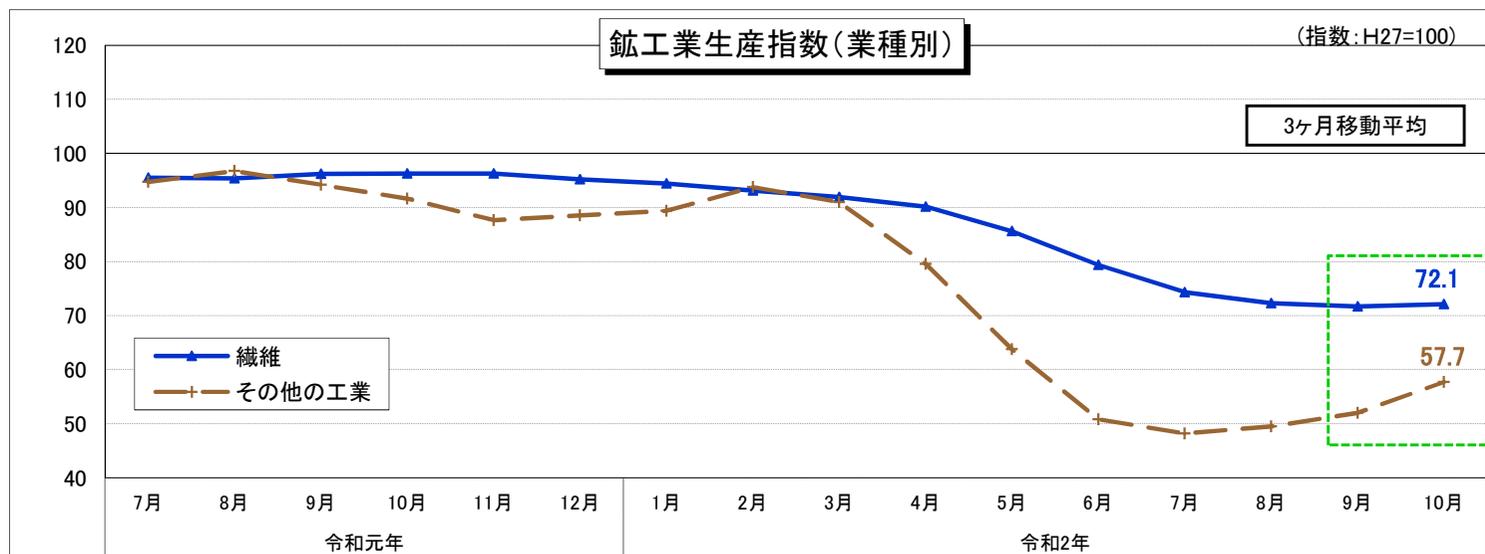
- 衣料向けは、アパレル業界が業績悪化から発注が縮小しているほか、営業活動を自粛している先も多く、新規受注が獲得できていない。
- 自動車メーカーの生産回復により車両資材は回復が続いているが、今後は厳しさが増すことを懸念している。

## 【その他の工業（眼鏡枠及び部品）】

➤ 悪化しつつある。

### 《企業等から聞かれた声》

- 若干受注が増加してきた先もあるが、産地全体としては厳しい状況である。感染症が拡大しており、先行き不透明感は強い。



(注) 1. 値は季節調整値  
2. 令和2年10月は速報値

# ○ 主な業種の動き（生産活動）

## 【プラスチック製品】

➤ 建築資材を中心に弱含んでいる。

### 《企業等から聞かれた声》

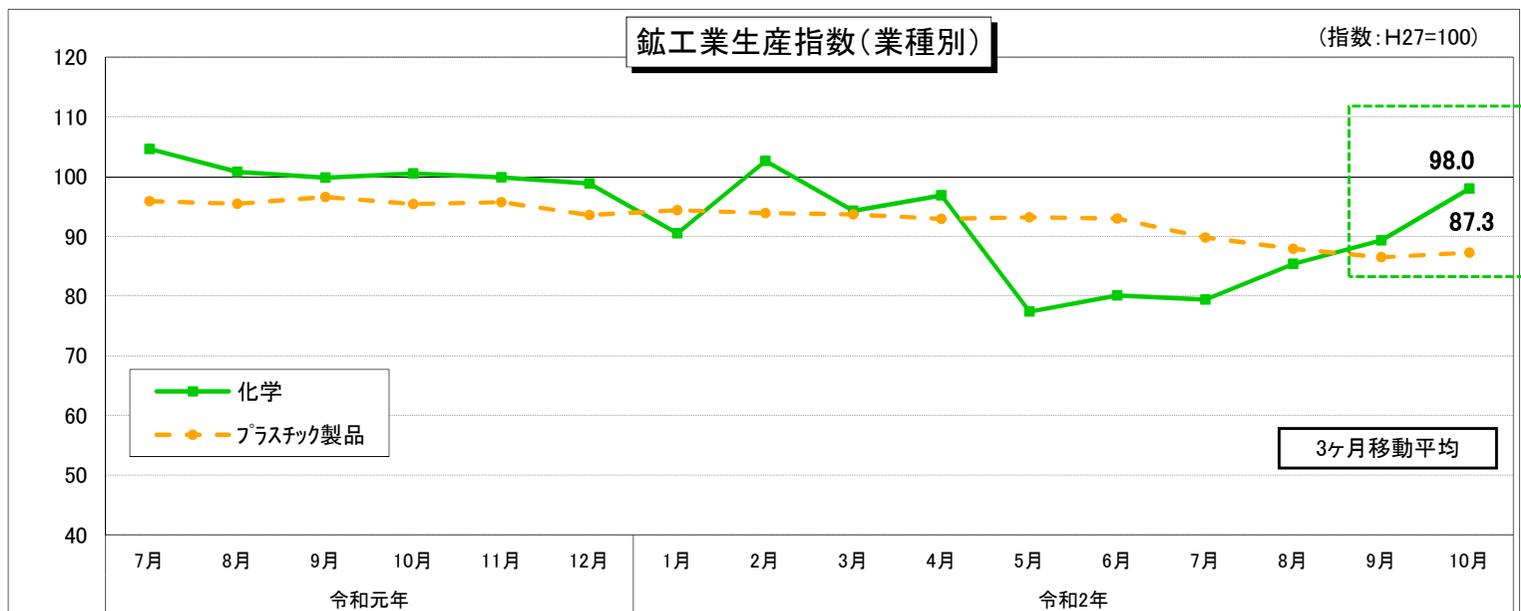
- 建築資材は、前年水準には満たないものの、一時期の落ち込みからは戻りつつある。包装資材は、自動車関係などで動きがみられ、前年を上回る水準まで回復している。

## 【化学】

➤ 合成樹脂等の化学製品を中心に下げ止まりつつある。

### 《企業等から聞かれた声》

- 繊維加工用薬剤について、自動車向けは、自動車生産の回復から上昇基調にあるものの、アパレル向けは、アパレル業界の落ち込みから未だ厳しい状況にある。



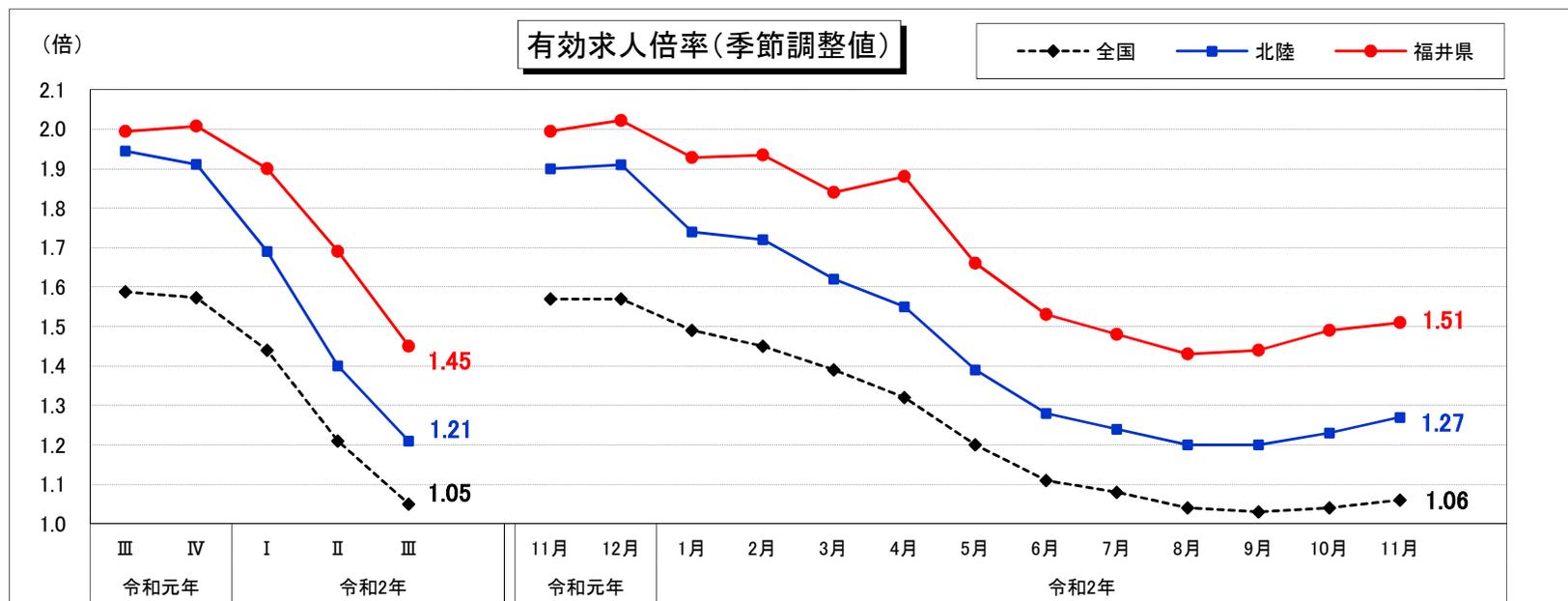
(注) 1. 値は季節調整値  
2. 令和2年10月は速報値

# ○ 雇用の動き

## ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(福井財務事務所 令和2年10月発表)

- ✓ 新規求人が前月比増加傾向にあることから、有効求人倍率は上昇傾向となっている。
- ✓ 新規求人数は、繊維工業や眼鏡等製造業、小売業など多くの業種が前年を下回っている。

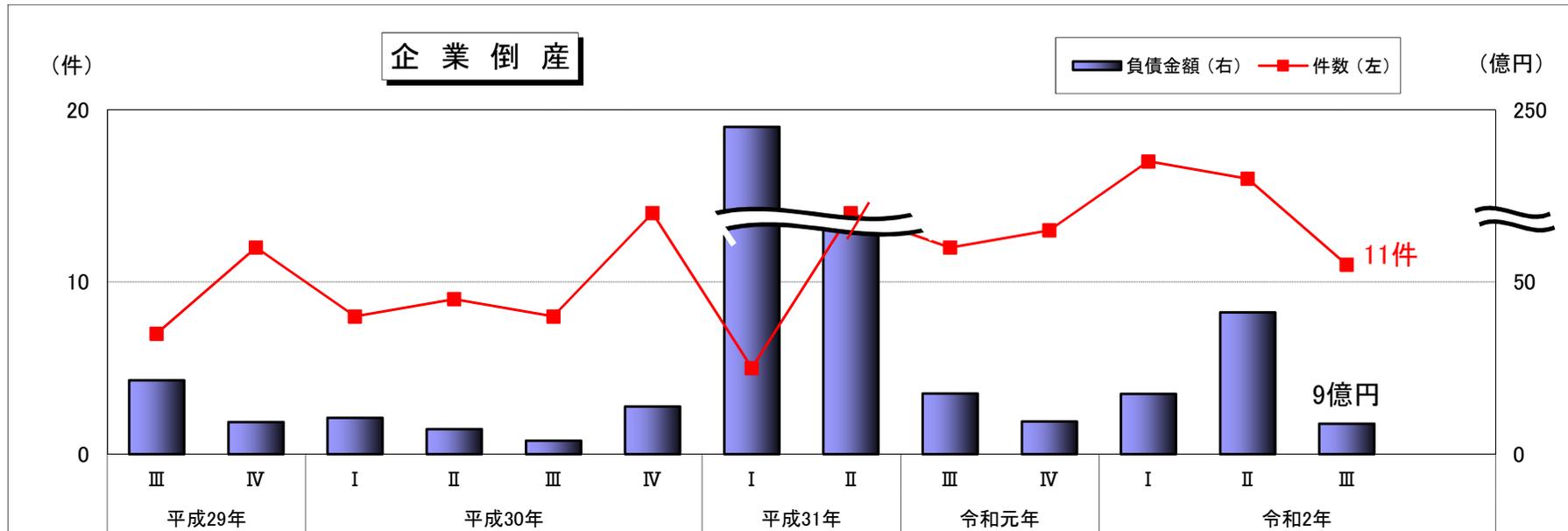


[厚生労働省、福井労働局]

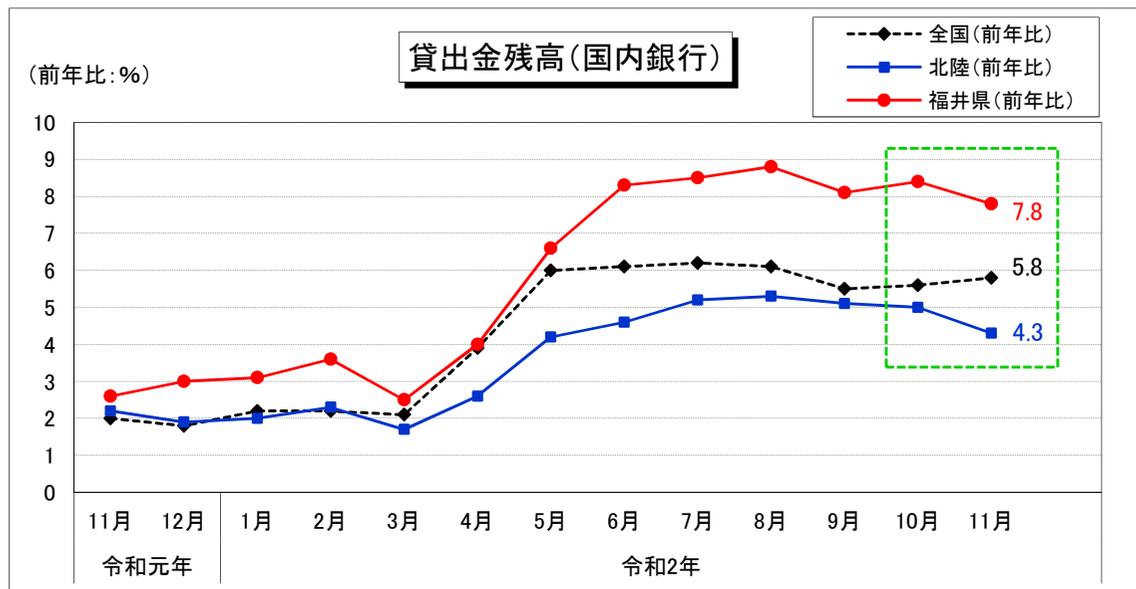
### 《企業等から聞かれた声》

- 解雇等見込み件数は減少が続いている。また、雇用調整助成金の申請件数は、継続先は高水準で推移しているが緩やかに減少している。
- 有効求人倍率は底を打った形となっているが、先行きの動きは全く読めない。

# ○ 倒産などの動き



[(株)東京商工リサーチ]



《企業等から聞かれた声》

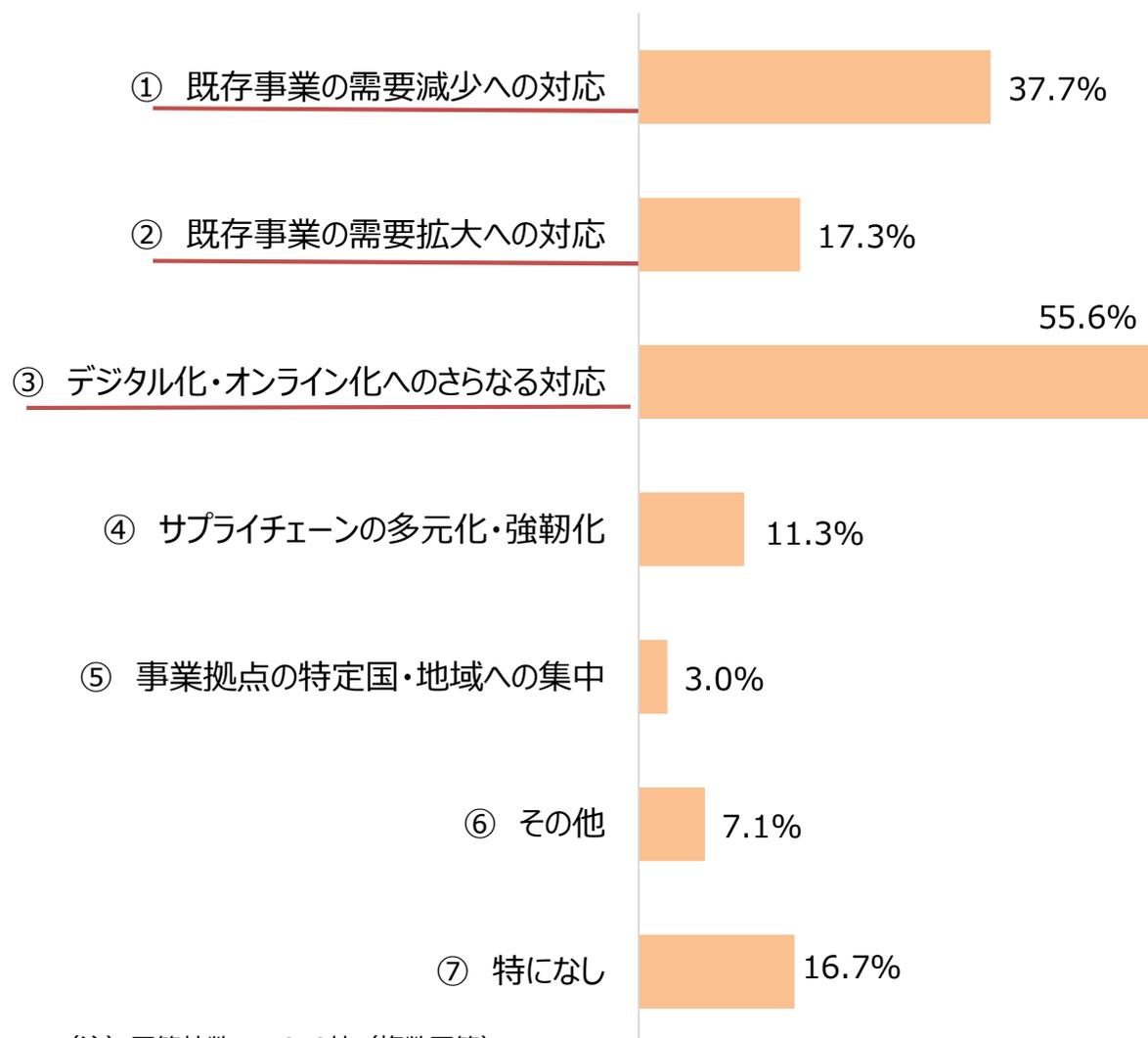
- 運転資金については、前倒しで資金を厚めに調達する動きが続いているが、実行件数は足下で落ち着いている。

[日本銀行]

(注) 1. 国内銀行は整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。  
 2. 北陸は、北陸3県に店舗を有する国内銀行。福井県は、福井県に店舗を有する国内銀行。

# ○ アフターコロナの課題とは①

## 感染症拡大で浮き彫りとなった課題（財務局調査）



(注) 回答社数：1,313社（複数回答）

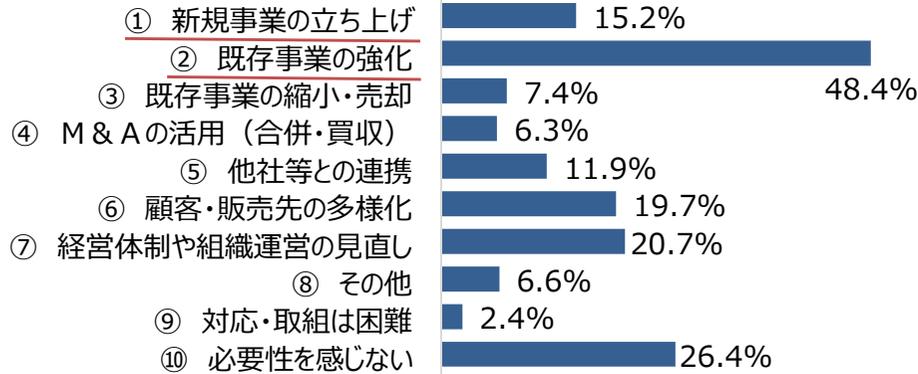
### <課題の具体例>

- サービス業（宿泊・飲食、旅客等）での来客数減少
- 小売業におけるリアル店舗での売上減少
- 製造業の輸出減少
  
- 巣ごもり需要への対応
- デジタル製品の需要増加に伴う対応
  
- 対面営業・販売への過度な依存
- WEB会議などの社内ITインフラの未整備
- 紙ベースでの事務手続き（契約、商品発注等）
  
- 原材料・部品の調達が少数のサプライヤーに依存
- 在庫管理の不徹底
  
- 売上が感染拡大地域（都市部等）に集中
- 特定部品を一部の海外工場でのみ生産
  
- BCP対応の脆弱性

# ○ アフターコロナの課題とは②

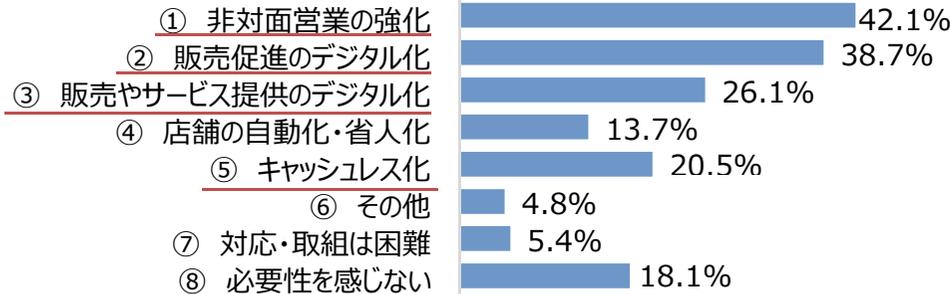
## 課題への対応（財務局調査）

事業再編



- ① 他社とオンライン診療支援ツールを取り扱う合併会社を設立。【化学・大・北陸】
- ① 既存の宅配事業を強化するほか、ビジネスパーソン等の一人客の取り込みに注力するため、新業態の店舗を展開する。【飲食サービス・中堅・北海道】
- ② ネットスーパーが伸びており、県民のニーズを肌で感じていることから、更に品揃えを増やすなどして力を入れていきたい。【スーパー・大・沖縄】

顧客接点や営業・販売手法



- ① 素材データをデジタル化してプラットフォームに掲載することで、バーチャルサンプルを顧客に対して迅速に提供可能としたほか、一部でWEB販売も開始した。【生産用機械・大・近畿】
- ① 外食の個人経営者が営業マンを介さずに商品を発注できるように業務用アプリを開発。既に顧客の約20%がアプリを導入済みである。【食料品製造・中堅・四国】
- ② 従来は不特定多数にチラシを配布していたが、個人の購入履歴などのビッグデータをAIで分析して、その人向けのおすすめ商品を提案。また、無人店舗やセルフレジの導入などにも取り組んでいる。【スーパー・大・関東】

サプライチェーンや事業拠点

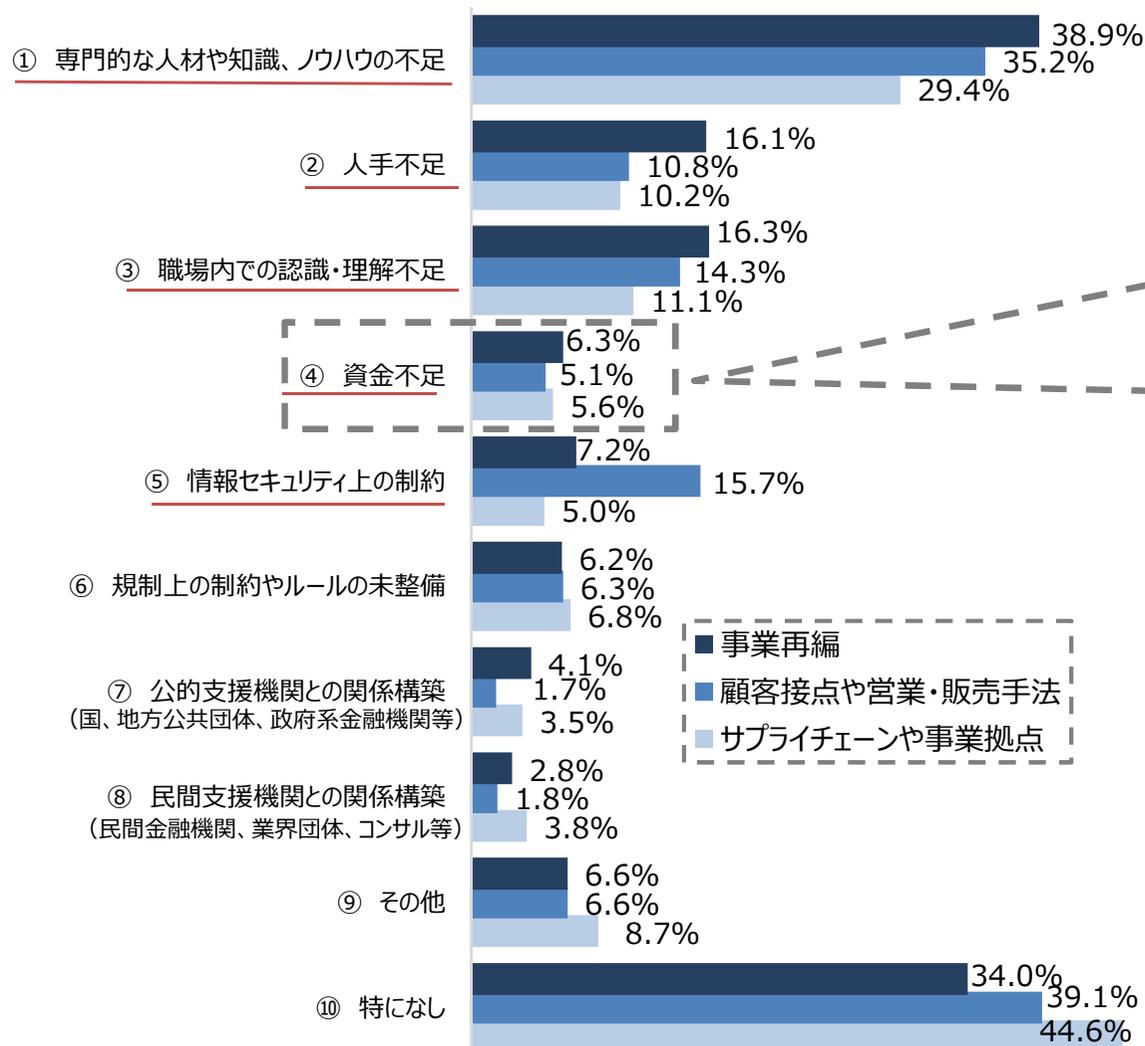


- ① 9月から店舗でAIが商品の発注作業を担うシステムを導入。現在は寿司や総菜のみだが、今後は加工食品等にも対象を拡大する。【ショッピングセンター・大・東北】
- ① 国内工場で生産する車両に必要な部品・部材の品目数や、海外を含めた部品メーカーの情報を管理するシステムを構築し、サプライチェーン情報の把握にかかる時間を大幅に短縮している。【自動車/同付属品・大・東海】
- ③ コロナの影響で海外からの部品調達が一時滞ったこともあり、調達先の多元化を進めている。特に中国一極集中の回避が必要。【自動車/同付属品・大・東海】

(注) 回答社数（複数回答）：事業再編 1,292社、顧客接点や営業・販売手法 1,295社、サプライチェーンや事業拠点 1,274社

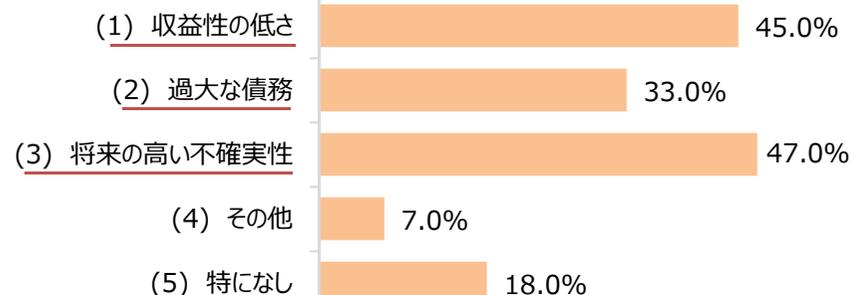
# ○ アフターコロナの課題とは③

## 課題への対応を進める上でのボトルネック（財務局調査）



(注1) 回答社数：事業再編934社、顧客接点や営業・販売手法1,036社、サプライチェーンや生産拠点664社（いずれも複数回答）

### <資金調達上のボトルネック>



(注2) 回答社数：100社（複数回答、左記グラフで「④資金不足」を選択した企業）

- ① 本年10月よりスタートするE Cサイトについて、適任者が社内におらず、専任スタッフの不足を感じているため、中途採用を検討している。【繊維・中堅・近畿】
- ⑤ オンラインでの顧客対応が増加するため、情報漏洩防止等、セキュリティ対策強化が必要である。遠隔監視により取得した運転データの取扱いに関する顧客との契約を締結していく。【はん用機械・大・福岡】
- ② 新型コロナの影響で有効求人倍率は下がりつつあるが、介護職は依然として人手不足が継続中。介護現場でのロボットやICT等の活用に加え、人材確保には継続的な処遇改善が必要不可欠である。【医療/福祉・大・関東】
- ① リアル店舗の販売が最優先の考えが社内でも根強く、WEB等の取組は弱い。また、資金が乏しいため、決済システムなどの導入も遅れている。リアル店舗を持つ小売業は、高い人件費などから低収益体質であり、特に地方は人口減少と販売チャネルの多様化で資金調達も厳しい状況である。【百貨店・北陸】
- ④ 新型コロナの影響による業績悪化で借入金が増加。事業の再構築を行う上でも資金面での制約を余儀なくされている。【飲食サービス・大・関東】

ご清聴ありがとうございました。

※ 本日の講演の意見・解釈に関するものは講師の個人的見解であり、財務省、北陸財務局の公式見解を示すものではありません。